

医療メモ 大腸がん検診について

大腸がんは罹患する方（かかる方）が増加しており、罹患数第1位、がんによる死亡原因の第2位となっています。一方で大腸がん検診の受診率は25%程度と低率で、便潜血反応陽性で精密検査が必要とされた方の受診率も50%と低率です。特に精密検査を受けていない事が問題となっています。

1 大腸がん検診の方法（便潜血検査）

便に潜む血液の有無を調べる検査、いわゆる検便を行います。大腸がんやポリープがあると、便が腸内を移動する際に便と組織が擦れて血液が付着します。便潜血検査では、便に血が混じっているかどうかを調べ、目に見えないわずかな出血も検知することが可能です。がん検診の中でも、最も死亡率が下がることが証明されています。便の採取は自宅で行うことができます。通常2日分の便を採取します。食事の制限もない簡単な検査です。

2 大腸がん検診の対象年齢

大腸がん検診が推奨される年齢は40歳以上の健常者です。

3 大腸がん検診の検診間隔

毎年定期的に受診することが推奨されています。

4 大腸がん検診の精密検査

検診で「異常あり」という結果を受け取った場合は、精密検査を受けます。大腸がん検診における一般的な精密検査は、全大腸

本庄市児玉郡医師会広報部

内視鏡検査、大腸CT検査です。必ず精密検査を受けてください。

①全大腸内視鏡検査

精密検査の第1選択は、全大腸内視鏡検査です。日本の大腸内視鏡検査は、技術、普及度のいずれからみても世界のトップです。このため、大腸がん2次検診は内視鏡検査が主流です。がんやポリープに対する診断精度が非常に高いですが、まれに出血や腸に穴があく（穿孔）などの偶発症があります。高度な技術を必要とする検査のため、多くの受診者に行うことはできません。検診として、死亡率減少効果は証明されているものの、現時点では精密検査のための検査法です。

②大腸CT検査

肛門からガスを注入し大腸を拡張させ、X線で撮影する検査です。この撮影により得られた大腸の3次元画像や通常のCT画像を基に、がんやポリープがないか調べます。

大腸CT検査は、欧米や日本での臨床試験の結果からは10mm以上の病変の描出においては、大腸内視鏡に劣らない結果を得ています。1回の撮影時間は20秒程度で、原則として2体位での撮影を行います。検査全体でも15分程度で終わります。この検査では、炭酸ガスを注入するだけなので、比較的楽に検査を受けることができます。

休日・夜間の急病のときは…

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所 ☎23-3322

本庄市保健センター内で、内科系の比較的症状が軽く、入院の必要がない方の診療を行います。

※診療以外に関する問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。

▶診療日 日曜・休日・年末年始（12/30～1/3）
平日木曜日夜間

▶診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時（平日木曜日夜間は午後8時～10時）

※健康保険証を持参してください。

※夜間の診療は午後9時45分までに受付をしてください。

●在宅当番医療機関 ▶診療時間 午前9時～正午

2月2日(日)	飯塚耳鼻咽喉科医院	上里町神保原町	☎34-2313
2月9日(日)	飯塚内科産婦人科	栄1丁目	☎24-6311
2月11日(祝)	五十嵐整形外科医院	若泉1丁目	☎24-2313
2月16日(日)	池田レディースクリニック	小島南3丁目	☎22-2048
2月23日(祝)	彩の丘クリニック	上里町神保原町	☎71-7166
2月24日(休)	あたご山クリニック	中央1丁目	☎22-8733
3月1日(日)	黒岩整形外科医院	上里町七本木	☎34-0551

※在宅当番医は変更になる場合がありますので、電話でご確認のうえ、お出かけください。

●困ったときは電話相談を！

ほんじょう健康相談ダイヤル24（相談料・通話料無料）

☎0120-122-885

健康・医療・出産・育児・介護などの相談、医療機関情報の提供を行います。（市内在住者が対象）

▶受付時間 24時間・年中無休

埼玉県救急電話相談（通話料利用者負担）

☎#7119

救急医療相談に看護師が対応します。健康相談・育児相談には対応しません。（大人・小児共通）

※IP電話、ひかり電話、ダイヤル回線からは☎048-824-4199

▶受付時間 24時間・年中無休

下記の電話番号からも救急電話相談が利用できます。

○大人の救急電話相談 #7000

○小児救急電話相談 #8000又は☎048-833-7911

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。医療機関情報については、[児玉郡市広域消防本部指令課☎24-1119](#)でご案内していますのでご利用ください。診療科目によっては県外や本庄市・児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

感染症の流行を防ぐために 予防接種を受けましょう

★健康推進課（保健センター内） ☎24-2003



病気にかからないように、また、重症にならないように、まだ接種していないお子さんは、予防接種を受けましょう。対象者は無料で接種できます。ただし、接種期間を過ぎた場合は全額自己負担になります。

予診票がお手元ない場合は、母子健康手帳をご持参のうえ、健康推進課（保健センター内）又は支所市民福祉課（アスピアこだま内）へお越しください。

①二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種

予診票は、11歳の誕生月の翌月に郵送しています。

●対象 11歳以上13歳未満

●接種期間 11歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

②麻しん・風しん（MR）予防接種

1期は生後12月～24月に1回接種し、2期は小学校就学前の1年間に1回接種します。

<令和元年度2期>

●対象 平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれの方

●接種期間 令和2年3月31日(火)まで

③日本脳炎予防接種の特例

一時見合わせていましたが、平成22年度以降は新しいワクチンの接種を再開しています。現在までの接種回数を確認し、不足回数を接種してください。

○平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方
20歳の誕生日の前日まで接種することができます。

●接種回数 1期 3回接種
2期 9歳以上で1回接種

※1期の接種後、おおむね5年の間隔を空けて接種してください。

●接種期間 20歳の誕生日の前日まで

※2期の予診票は、中学3年生に郵送しています。

○平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方

第1期の接種が7歳6か月までに3回完了していない方は9歳以上13歳未満の間に不足した第1期（最大3回）を接種することができます。

●接種期間 9歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

④子宮頸がん予防ワクチン

現在、接種の積極的な勧奨を一時的に差し控えています。ただし、定期接種自体は中止しないため、希望者は継続して受けることができます。接種を希望する方は、有効性及び副反応等について十分に理解したうえで、接種を受けてください。

●対象 小学6年生～高校1年生の女子



インフルエンザに注意しましょう！

感染予防ポイント

- ・咳エチケット
- ・手洗い
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養
- ・バランスのとれた栄養摂取

感染予防に努め、インフルエンザが疑われる時は、早めに医療機関を受診しましょう。

★健康推進課 ☎24-2003